

# 大垣市景観計画（素案）

～ 中間報告 ～

平成20年2月

大垣市 都市計画課

<b>1. 前提条件の整理</b> .....	<b>1</b>
(1) 景観形成の考え方	
(2) 大垣市景観計画の前提となる計画及び条例	
(3) 上位・関連計画による位置付け	
(4) 大垣市の概況	
<b>2. 市民意向の把握</b> .....	<b>13</b>
(1) 市民アンケート	
<b>3. 景観資源調査</b> .....	<b>24</b>
(1) 景観類型別景観資源の整理	
<b>4. 景観課題の整理</b> .....	<b>35</b>
(1) 景観特性の整理	
(2) 景観形成上の課題	
<b>5. 景観形成方針</b> .....	<b>40</b>
(1) 景観形成の目標	
(2) 景観形成の基本方針	
<b>6. 景観計画</b> .....	<b>43</b>
(1) 景観計画区域	
(2) 景観形成に関する方針	
(3) 景観形成のための行為の制限	
(4) 景観形成重点区域	
(5) 景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針	
(6) 屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置に関する行為の制限 に関する行為の制限に関する事項	
(7) 景観重要公共施設の整備及び景観重要公共施設の占用許可等の基準に関する 方針	
(8) 景観農業振興地域整備計画の策定に関する基本的な事項	
<b>7. 今後の方針</b> .....	<b>64</b>
<b>8. 資料</b> .....	<b>69</b>

# 1

## 前提条件の整理

### (1) 景観形成の考え方

景観形成に対する考え方を明確にするとともに、本市の都市構造、景観形成に関する近年の動向を把握するなど、計画策定の前提となる条件を整理します。

#### ① 趣旨

大垣市が積極的に景観まちづくりに取り組み、市民・事業者との協働により、その実現に推進することを目的に、景観法（平成16年6月18日法律第110号。以下「法」という。）第8条の規定に基づく景観計画の策定を行います。

景観計画は、先に策定の本市の景観まちづくりに関するマスタープランである「大垣市都市景観基本計画」（平成9年度）をもとに、合併地区の景観特性を加味して新たな視点のもとに定めるものとします。

#### ② 理念

○良質な景観は、現在及び将来にわたり大垣市民共通の財産です。

○良質な景観は、ふるさとの自然、歴史、文化等と市民の生活、経済活動等との調和により形成されるものであることから、これらが調和したまちづくりを目指します。

○良質な景観は、地域固有の特性と密接に関連するものであることから、市民の意向を十分踏まえ、評価を得て、地域の個性及び特色を伸ばすよう、多様な形成が図られるようにしていきます。

○良質な景観は、観光や地域間の交流の促進にも大きな役割を担うものであることから、市民・事業者・行政の協働により、一体的な取り組みを目指します。

○良質な景観の形成は、現にある良質な景観を保全するだけでなく、新たに良質な景観を創出することを目指します。

## (2) 大垣市景観計画の前提となる計画及び条例

### ①大垣市都市景観基本計画

策定年次	平成9年度
将来像	水都大垣 ～風情あふるる情景都市
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 商業の情景～時代を超えたにぎわい景観の形成</li> <li>② 工業の情景～産業の活力を示す大規模建築物景観の形成</li> <li>③ 市街地の情景～シルエットの整った遠景景観の形成</li> <li>④ 田園（輪中）の情景～広がり保たれた景観形成</li> <li>⑤ 宿場の情景～山並みと一体となった歴史景観の形成</li> <li>⑥ 水辺の情景～水都を引き立たせる水辺の景観形成</li> </ul>
景観形成の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>①商業の情景～時代を超えたにぎわい景観の形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅周辺商店街の賑わいの形成</li> <li>・ 歴史的要素を活かした景観形成</li> <li>・ 面的に広がる歩行者ネットワーク</li> <li>・ 公共空間と民有空間との調和</li> </ul> </li> <li>②工業の情景～産業の活力を示す大規模建築物景観の形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工場周辺のうるおいづくり</li> <li>・ 工場の施設景観への配慮</li> </ul> </li> <li>③市街地の情景～シルエットの整った遠景景観の形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 落ちついた住宅地景観の形成</li> <li>・ 住宅地にふさわしい公共空間の形成</li> <li>・ 統一感のある市街地景観の形成</li> <li>・ 幹線道路沿道の景観形成</li> </ul> </li> <li>④田園（輪中）の情景～広がり保たれた景観形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広がる田園風景の保全</li> <li>・ 集落の屋根並みと歴史性の活用</li> <li>・ 輪中景観の活用</li> </ul> </li> <li>⑤宿場の情景～山並みと一体となった歴史景観の形成（赤坂宿） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古い宿場の景観的な保全と散策空間の確保</li> <li>・ 山並みの保全と緑の広がり</li> </ul> </li> <li>⑥水辺の情景～水都を引き立たせる水辺の景観形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川空間の集景と自然的要素の保全</li> <li>・ 市街地における水景の多用による身近な水辺の形成</li> <li>・ 文化的価値の高い水辺の保全・活用</li> </ul> </li> </ul>



## ② 大垣市都市景観条例

施行	平成10年4月
目的	本市の良好な都市景観の形成に関して必要な事項を定めることにより、大垣らしいまちの景観を守り、育て、創り上げるとともに、景観要素の整序を図り、美しく魅力的で調和のとれたまちづくりを全市民の参加のもとに推進し、快適で住みよいまちにすること。
市と市民の役割	<p>市の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条例の目的を達成するため、基本的かつ総合的な施策を実施し、施策の実施にあたっては、市民の意見等が十分反映されるよう努めます。</li> <li>・ 都市景観の形成を総合的かつ計画的に進めていくため、大垣市都市景観基本計画を策定します。</li> <li>・ 都市景観に関する知識の普及・啓発を図るとともに、また、公共施設の整備を行う場合には、都市景観の形成において先導的役割を果たします。</li> </ul> <p>市民の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民等は自らが景観形成の主体であることを認識し、積極的に都市景観の形成に努めるとともに、市が実施する都市景観の形成に関する施策に協力するものとします。</li> </ul>
施策	<p>○都市景観形成重点地域</p> <p>重点的にまちの景観を形成していく必要がある地域を都市景観形成重点地域として指定し、地域の特性を生かした景観を創出するもの。</p> <p>○大規模建築物等</p> <p>一定規模を超える建築物や工作物、広告物等を対象に、周辺の景観との調和を図るため、「大規模建築物等の新築等の届出制度」によりあらかじめその内容を届け出いただき、大垣市都市景観基本計画の趣旨により、建築物等の形態・意匠、色彩などについて助言・指導を行うもの。</p> <p>○都市景観形成重要建築物等</p> <p>都市景観の形成上重要な価値があると認める建築物等を都市景観形成重要建築物等に指定し、貴重な景観資源として保全・活用に努めるもの。</p> <p>○都市景観形成市民団体</p> <p>都市景観の形成に寄与することを目的として設立され、活動する団体を、都市景観形成市民団体として認定し、地域住民による自主的なまちづくりの支援を行うもの。</p> <p>○都市景観市民協定</p> <p>区域の実情に応じた都市景観の形成を図るため、地域住民の大多数の合意により、都市景観の形成に関する必要な事項について定めた協定を、都市景観市民協定として認定するもの。</p> <p>○表彰及び助成</p> <p>都市景観の形成に貢献している建築物等や市民活動などを、表彰や助成によって支援するもの。</p>

### ③ 中山道赤坂宿まちなみ形成プラン

計画年次	平成 17 年度
将来像	歴史が息づき、暮らしのぬくもりと魅力あふれる赤坂
基本目標	<p>&lt;暮らし&gt; 「人にやさしく、安全で、心満たされる暮らしができるまちづくり」</p> <p>&lt;産業・観光&gt; 「多様な交流がにぎわいと活力を生み出すまちづくり」</p> <p>&lt;景観&gt; 「赤坂宿の歴史を基調に、多様な魅力を感じられる景観づくり」</p>
景観形成の基本的な方針	<p>&lt;宿場景観&gt; 宿場町の歴史を背景に人が行き交う景観</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧中山道</li> <li>・旧谷汲街道</li> <li>・旧養老街道</li> </ul> <p>&lt;脇道景観&gt; 生活者のぬくもりを感じる手づくり景観</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的雰囲気が残る脇道</li> <li>・緑のある脇道</li> <li>・水路のある脇道</li> <li>・寺社へつづく脇道</li> </ul> <p>&lt;眺望景観&gt; まちを活かす山並み景観</p>
施策の展開方向	<p>■ハード関連施策</p> <p>○公共空間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電柱・電線類の地中化</li> <li>・道路の美装化・安全対策</li> <li>・サイン・散策ルート整備</li> <li>・街路灯の整備</li> <li>・憩いの場の整備 等</li> </ul> <p>○民間空間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観形成のためのルールづくり</li> <li>・建築物の修景</li> <li>・脇道の修景</li> <li>・駐車場の修景</li> <li>・屋外広告物の修景 等</li> </ul> <p>■ソフト関連施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力の発掘・PR</li> <li>・イベント・勉強会の開催</li> <li>・美化活動</li> <li>・まち歩き支援</li> <li>・景観形成・保全のための仕組みづくり</li> </ul>

#### ④ 美濃路大垣宿まちづくり計画

計画年次	平成 18 年度
基本目標	基本目標 1 水と緑に彩られた、潤いのある生活空間をつくる 基本目標 2 歴史と文化に育まれ、宿場町の風情を感じる空間をつくる 基本目標 3 賑わいと憩いが調和した、観光交流空間をつくる
活動の展開方策	地域への愛着心の高揚 情報提供・情報公開 観光マップの工夫 美濃路の回遊性を向上 特色ある店づくり ボランティアガイドの充実 マナーの向上
ゾーン別景観まちづくりの方針	<p>&lt;Aゾーン&gt; 賑わいのなかに歴史を体感できる景観づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建築等の維持・活用</li> <li>・かつての水路や橋を演出する空間の創出</li> <li>・美濃路大垣宿の玄関口を表現する整備 等</li> </ul> <p>&lt;Bゾーン&gt; 文化と四季が織りなすやすらぎの景観づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しめる遊歩道の整備</li> <li>・憩いの空間の創出</li> <li>・建築物等の規制・誘導施策の充実 等</li> </ul> <p>&lt;Cゾーン&gt; 知る・学ぶ・薫る景観づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大垣宿本陣跡及びその周辺の再整備</li> <li>・歴史的建築物等の維持・活用</li> <li>・牛屋川の水辺空間の演出 等</li> </ul> <p>&lt;Dゾーン&gt; 心に響く“もてなし”の景観づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大垣・美濃路の特産をPRする施設整備</li> <li>・休憩場所の整備</li> <li>・統一感を表現した空間の創出 等</li> </ul> <p>&lt;Eゾーン&gt; 木漏れ日が彩る歩きたくなる景観づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美濃路大垣宿の玄関口を表現する整備</li> <li>・美濃路へ誘導する整備</li> <li>・桜並木と歩道の再整備 等</li> </ul>

### (3) 上位・関連計画による位置づけ

#### ① 岐阜県景観形成ガイドプラン

策定年次	平成元年度（中間報告書）
ガイドプランの狙い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本県の景観イメージの確立</li> <li>○行政分野全般に渡る共通の指針づくり</li> <li>○市町村における景観形成のための指針づくり</li> <li>○県民意識の高揚と県民参加</li> </ul>
大垣地域の景観特性	<p>岐阜県を 10 地域区分にし、それぞれの地域の景観特性を整理しています。大垣市は大垣地域に属しています。</p> <p>&lt;全体景観特性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央部に濃尾平野、西部に養老山地、伊吹山地などの山岳地帯を有する地域で、本県の西の入り口となる地域です。</li> <li>・木曾川、長良川、揖斐川の木曾 3 川の合流部では海拔 10 メートル以下の低湿地帯を生み出し、全国的にも珍しい輪中のある地域で、水と戦い共存してきた歴史を持っています。</li> <li>・また、関ヶ原の古戦場という戦国時代の歴史の舞台と、垂井―大垣―墨俣―尾張の宮へと続く東海道と中山道を結ぶ最短の街道である「美濃路」などの歴史性豊かな要素も残されています。</li> </ul>

#### ② 第 5 次大垣市総合計画（前期計画）

計画期間	平成 20 年度から平成 24 年度（2008 年～2012 年）
将来都市像	「水と緑の文化・産業・情報・交流都市」
景観施策の概要	<p>&lt;基本方針&gt;</p> <p>自然や歴史、文化などの地域資源を生かした美しく魅力ある景観を形成するため、市民と行政が一体となって、景観形成の推進や特色ある景観の保全・活用に努めます。</p>
重点プロジェクト	5つの重点プロジェクトのうち、景観分野は、「都市再生・活性化プロジェクト」に位置づけられて、「中山道赤坂宿の景観の整備」「美濃路大垣宿の景観の整備」「美濃路墨俣宿の景観の整備」があげられています。

### ③ 大垣市環境基本計画

計画年次	平成 11 年度
望ましい環境像	「ハリンコが泳ぎ、ホタルが舞う水都・大垣」
大垣環境市民宣言	「暮らしを変えて、未来に夢を」
基本目標	6つの基本目標のうちの1つ、「歴史と緑あふれるまち」で、歴史・文化・景観をいかして水都の魅力を作り出していくとしています。
景観関連目標	<p>「歴史と緑あふれるまち」の個別施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林地域や市街地内の農地、史跡、社寺林などの緑の創出と残された緑の保全、活用を図ります。</li> <li>・水辺の自然や輪中堤などをいかし、水と緑のネットワークを形成していきます。</li> <li>・歴史・文化・景観資源をいかし、都市の個性をみがく水と緑をつくります。</li> <li>・地域の特性やニーズにあった、多様な緑地整備や緑化をすすめ、緑の創出を行います。</li> </ul>

### ④ 大垣市緑の基本計画

計画年次	平成 11 年度
課題	<p>水と緑のもつ主要な機能を4つの視点にまとめ、その中の1つ「景観（美しく、個性的なまちなみづくりのための機能）」の視点から、以下の3つの必要性を課題としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○養老・伊吹山系や揖斐川、杭瀬川などの特徴ある骨格的な景観を保全するため、都市の景観に配慮した水と緑の保全と創造</li> <li>○本市の特性を活かした歴史・文化の趣のある景観形成のため、史跡や街道、寺社、輪中堤などの水と緑の保全・活用</li> <li>○美しくうるおいのある都市景観を形成するため、公共施設や住宅地、商店街、工場などの緑化</li> </ul>
水と緑の将来像	「水と緑がいびくまち」
基本目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 水と緑を守る、育てる、活かす</li> <li>2. 公園緑地をつくる、見直す</li> <li>3. まちの緑をふやす</li> <li>4. 水と緑を学ぶ、広める</li> </ol>

## ⑤ 大垣市住宅マスタープラン

目標年次	平成 17 年度（参考年次 平成 22 年）
住宅政策の基本理念	これからも住みたい水と緑のまち 大垣をめざして
基本方針	5つの基本方針のうち、景観に関連する施策としては、「地域の文化・産業を生かした住まいづくり」「良好な住環境を支えるまちづくり」においてあげられています。
景観関連施策	<p>&lt;地域の文化・産業を生かした住まいづくり&gt;  地域の歴史の中で育まれた住環境形成にあたっては、ファサードなど外観的な面だけでなく、そこでの暮らし、生活を踏まえて、その継承を図っていく必要があります。</p> <p>&lt;良好な住環境を支えるまちづくり&gt;  住生活においても、水と緑は、うるおいのある生活環境形成のために欠かすことがであることから、「緑の基本計画」に基づき、生活に密着した水と緑の維持増進を図ります。</p>

## ⑥ 大垣城郭整備ドリーム構想

計画年次	平成 17 年度
整備コンセプト	歴史・文化にあふれる「ロマンチックゾーン」の創出
整備目標	1.魅力的な景観づくり 2.観光拠点の整備 3.ふるさと文化の醸成
具体的な施策	（1）大垣城再整備事業 本丸等の整備、大垣城の歴史を感じ、学ぶ空間の創出、水の都を演出する空間の創出、大垣城の存在感を拡大する空間の創出 （2）歴史回廊整備事業 歴史回廊の設定、安全で赴きのある歴史回廊の整備、城下町を演出する空間の整備、市内の観光資源との連携の強化 （3）ふるさと再発見事業 顕彰事業の充実、歴史学習の充実、情報発信の充実、歴史や文化とふれあう施設の整備

## (4)大垣市の概況

### ① 大垣市の地域別特性

大垣市の人口は、約 16 万 6,000 人で、岐阜県内 21 市中第 2 位。世帯数は約 6 万世帯で、一世帯当たりの平均人員は 3 人です。世帯規模は、核家族化と少子化が進み、年々縮小傾向にあります。大垣市の在住外国人は約 6,700 人で、全人口の約 4.0%を占めています。国籍別では、近年日系人を中心とした南米からの移住者が増えています。

大垣市の面積は、206.52 平方キロメートル。合併により、飛び地になっており、東に墨俣地域、南西には上石津地域があります。地形は岐阜県内三大河川である揖斐川・長良川が流れ、市域には多くの河川が網目状に流れる水郷地帯です

日本列島のほぼ中央に位置する大垣市は、東京までの距離が約 410 キロメートル、大阪までの距離が約 146 キロメートル。名古屋までは約 44 キロメートルと大都市圏に近い生活圏の中に位置しています。経緯度は、市役所付近が東経 136° 36'、北緯 35° 21' です。

#### 1) 大垣地域

大垣地域は、濃尾平野の北西部に位置し、北西部の山地を除くと、ほとんどが起伏のない平坦な地形となっています。また、多くの河川が網目状に流れる水郷地帯で、ほぼ全域が海拔 3～4 メートルの低地です。

豊富で良質な地下水を活用して、県内有数の産業都市として発展を遂げるとともに、西濃圏域の中心としての基盤を着実に築きあげてきました。また、南部は輪中地域となっており、現在でも輪中堤や水屋建築が見られます。

#### 2) 墨俣地域

墨俣地域は、濃尾平野の西北部に位置し、起伏のほとんどない平坦な地形となっています。長良川の右岸に沿って細長く、東は長良川をへだてて岐阜市・羽島市に隣接。北は犀川を境に瑞穂市、西と南は同じ輪中（わじゅう）の安八郡安八町と境を接しています。

県道岐阜・垂井線（旧国道 21 号線）と長良川の交点に位置し、昔から交通の要所となっています。

#### 3) 上石津地域

上石津地域は、西から南に鈴鹿山系、東に養老山系、北に南宮山塊と標高 800m前後の山に囲まれ、中央を縫うように牧田川が南北に貫流し、その周辺に集落が開けた盆地型の町です。

地質は、ほとんどが秩父古生層に属する砂岩、粘板岩からなり、河川沿いに洪積層が見られます。総面積 123.38 平方キロメートルの約 87%が森林で占められ、自然環境に恵まれた緑豊かな地区です。

## ② 大垣市のあゆみ

### ■ 大垣市の特性と概況

大垣市は、東京と大阪の間に、また名古屋のすぐ北西に位置しており、大都市へのアクセスが容易です。特に、古くから東西交通の要衝として、歴史的に重要な機能を果たしてきました。市域には、日本の主要交通網の東海道本線、東海道新幹線、名神高速道路などが通り、主要都市圏へのアクセスが便利です。名古屋から鉄道で30分、中部国際空港から車で1時間30分、新幹線経由で東京から2時間30分、大阪から1時間30分の位置にあります。

### ■ 大垣市がめざしたまちづくり

昭和42年(1967)9月には、不破郡赤坂町が大垣市と合併し、人口も13万1,858人(同年4月1日)となり、名実ともに、西濃地域の中心都市として堅実な歩みをはじめました。

昭和30年代後半から顕著になった都市化現象は、その後も急速に進み、大垣市も周辺地域の人口が多くなるドーナツ化現象がみられ、周辺地域の活性化が顕著になりました。

これに伴い、大垣市では、上・下水道をはじめ、ごみ処理施設、公設地方卸売市場など生活環境施設の整備をつぎつぎと進めました。市制50周年を記念して、昭和43年(1968)4月市民会館が完成。昭和50年(1975)4月には文教都市大垣のシンボルとしての文化会館が完成しました。続いて、昭和55年(1980)1月に市立図書館、同年2月に総合体育館が完成、57年(1982)10月には歴史民俗資料館、60年(1985)6月には総合福祉会館、同年10月には郷土館、62年(1987)9月には浅中公園総合グラウンドなどが完成し、文化の薫り高いまちづくりが積極的に進められました。

これらは、長期的な都市づくりの指針として、昭和45年に第一次総合計画を策定し、昭和55年には、やがてくる新たな時代に備え「明るく豊かな住みよい産業文化都市」の創造を目指して、大垣市第二次総合計画を打ち出しました。

国際社会への対応が叫ばれる中、昭和63年(1988)には、国内1都市、海外5都市との官民一体となった都市間交流「フレンドリーシティ交流」が始まりました。また、「西濃はひとつ」を願いに地域活性化のひとつとして、スィンク西濃イベントがスタートしました。

### ■ 新しい時代のスタート

昭和64年1月7日、昭和天皇が崩御され、時代は新しく「平成」の時代を迎えたこの画期的な年に大垣市は市制70周年を迎えたのです。新しい時代のスタートと

ともに、平成 12 年（2000）を目標として、大垣市は平成元年（1989）に第三次総合計画を策定し、21 世紀を目指した新しいまちづくりを開始しました。この計画では、将来都市像を「水を愛し緑をはぐくむ人間性豊かな産業文化都市」とし、世界に開く個性的で感性豊かな都市「大垣」の実現に向け、積極的な施策が展開されてきました。平成 4 年（1992）4 月には生涯学習の拠点としてこれまでの文化会館と図書館に、新たに建設した学習館を統合したスイトピアセンターをオープン。福祉施設として、平成 6 年（1994）4 月に中川ふれあいセンター、平成 7 年（1995）4 月に認知症老人を対象にしたやすらぎデイサービスセンター、平成 9 年（1997）4 月お勝山ふれあいセンターと大垣市ほか二町老人保健施設「西美濃さくら苑」を次々と開設。さらには、全国に先駆け、24 時間対応の巡回型ホームヘルプサービスをスタートさせるなど、全国的な注目を集めました。

## ■ 情報化への取り組み

通信技術や情報処理技術がめざましい発展を遂げるなか、大垣市では岐阜県が進めてきた高度情報都市づくりとしての「ソフトピアジャパン構想」との連携のもと、平成 7 年（1995）4 月、郵政省の「自治体ネットワーク施設整備事業」の補助採択を受け、学校や市役所など公共施設を光ファイバーで結ぶ通信網の整備を進めました。また平成 9 年（1997）4 月に、市のホームページを開設し、インターネットを通して全国に向けて情報発信を始めました。平成 10 年（1998）2 月には、「大垣市情報工房」がオープン。ここを拠点に、各種パソコン研修や相談などを開き、地域情報化に向けて、ハード面・ソフト面での充実を図りました。

## ■ 魅力あふれる生活文化都市めざして

平成 10 年（1998）10 月、21 世紀への飛躍を願い市制 80 周年記念式典を市民会館で行いました。また、平成 12 年（2000）3 月には、官民一体となった「決戦関ヶ原大垣博」が開幕。さらに、8 月の全国高校総合体育大会、10 月の関ヶ原合戦 400 年祭と続き、街は大いに賑いました。このころ、環境問題や都市の空洞化などが全国的な社会問題となって現れてきました。大垣市では、平成 10 年に中心市街地活性化基本計画を策定し、平成 12 年（2000）3 月には環境基本計画と緑の基本計画を策定しました。そして、平成 13 年（2001）4 月から第四次総合計画をスタートさせ、「水と緑と情報～魅力あふれる生活文化都市」を将来都市像とし、社会の変化や市民ニーズに応じた行政運営に努めています。

そのような中、平成 18 年 3 月には、養老郡上石津町・安八郡墨俣町と合併。それぞれの個性と魅力を生かし、総合的な発展に努めています。

# 2

## 市民意向の把握

### (1) 市民アンケート

#### ①調査の概要

##### 1. 調査の目的

「大垣市景観計画」の策定にあたり、市民の景観に対する意識を把握し、市の景観への取り組みに反映させることを目的に調査を行いました。

##### 2. 調査方法

調査対象：大垣市に居住する20才以上の男女を無作為抽出

調査地域：大垣市の全域

配布数：1,000通（大垣地域：700、墨俣地域：150、上石津地域：150）

調査期間：平成19年8月24日（金）～平成19年9月14日（金）

##### 3. 回収結果

回収数456通（回収率45.6%）

##### 4. 調査内容

- ・回答者の属性について
- ・大垣市の景観について
- ・良好な景観形成のための方策について
- ・自由意見

#### ②調査結果

##### 1. “あなた（回答者）のご自身について”【回答者の属性】

###### (1) 性別

区分	人数（人）	割合
男性	197	43.2%
女性	250	54.8%

## (2) 年齢

区分	人数(人)	割合
20代	20	4.4%
30代	45	9.9%
40代	47	10.3%
50代	85	18.6%
60代	111	24.3%
70歳以上	147	32.2%

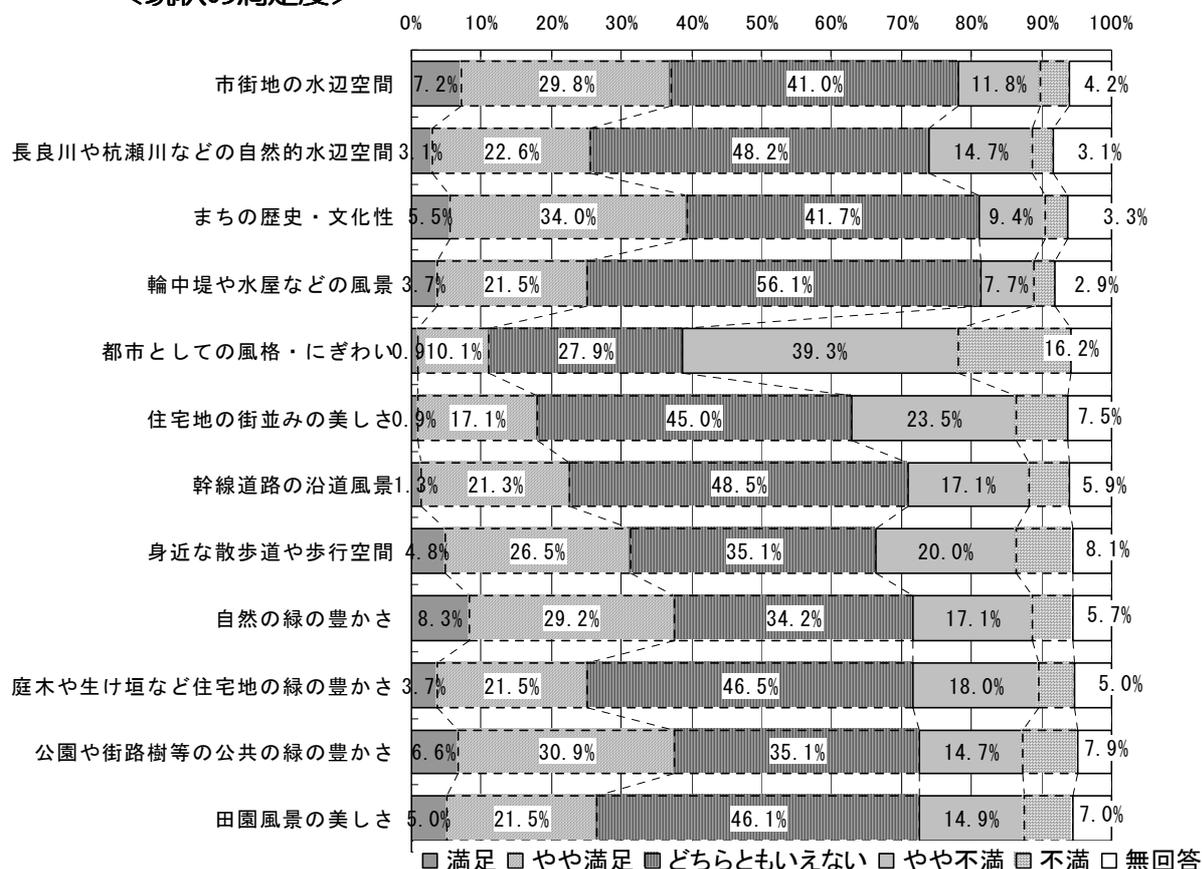
## (3) 居住地域

区分	人数(人)	割合
大垣地域	312	68.4%
上石津地域	60	13.1%
墨俣地域	81	17.8%

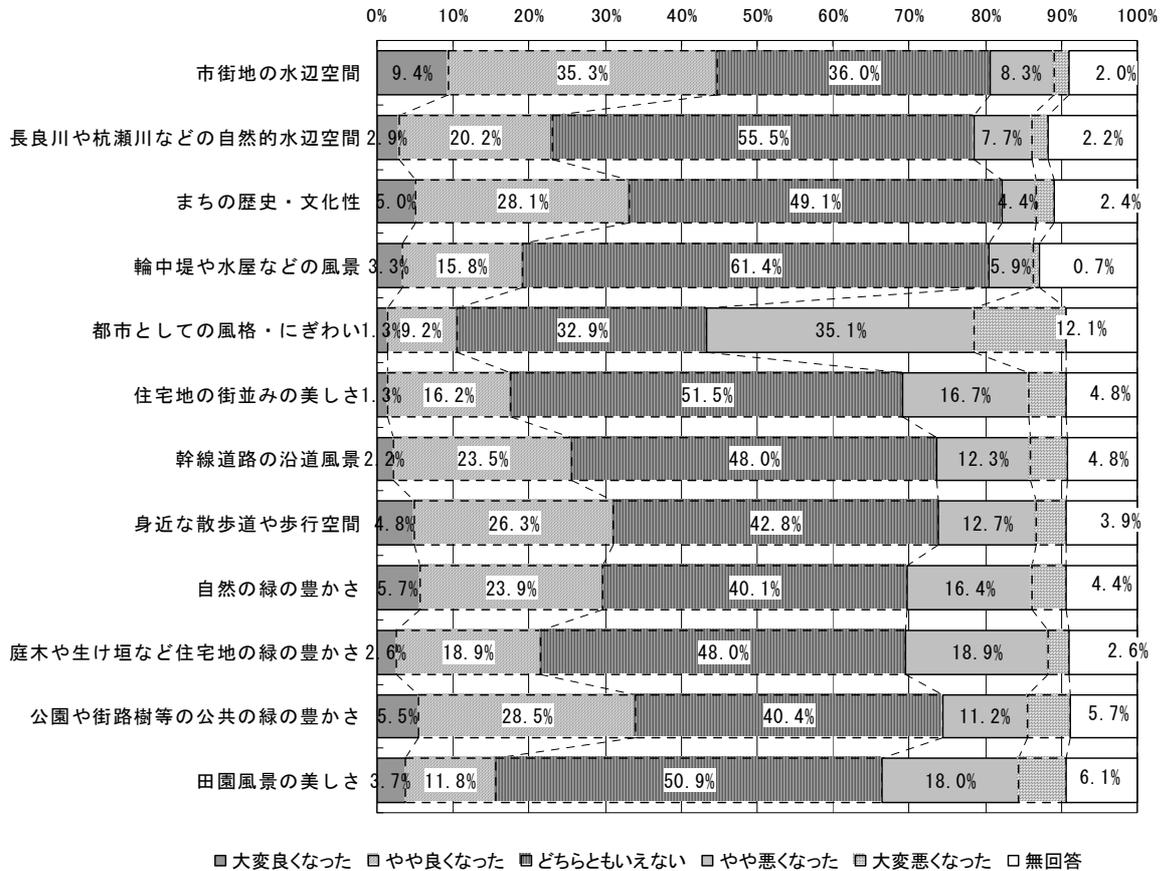
## 2. 大垣市の景観について

### (1) 現状の満足度と以前に比べた評価について

#### <現状の満足度>



## <以前に比べた評価>



### 【調査結果の概要】

- ・現状の満足度、以前に比べた評価ともに水辺空間や自然の緑の豊かさ等については比較的満足度が高いものの、「都市としての風格・にぎわい」や「住宅の街並みの美しさ」については他と比べ著しく満足度が低くなっています。
- ・特に「都市としての風格・にぎわい」については、悪くなったと評価した人が約半数にまで達しています。

### (2) 大垣市における景観の個性の有無について

区分	人数(人)	割合
他都市にはない個性を感じている	28	6.1%
他都市にはない個性を少し感じている	100	21.9%
他都市との違いを特に感じていない	274	60.1%
その他	12	2.6%
無回答	42	9.2%

【調査結果の概要】

・「他都市との違いを特に感じていない」が60.1%で最も多いことから、市民の多くは大垣市独自の個性に気づいていないとも考えられます。

(3) 個性を感じる場所について（2つまで選択）

区分	人数（人）	割合
大垣城や宿場町をはじめとする史跡、社寺などの歴史的景観	65	50.8%
市街地を流れる河川・水路などのまちなかの水辺の景観	59	46.1%
長良川・揖斐川・杭瀬川などの自然的な水辺の景観	22	17.2%
ソフトピアジャパンや工場などの建物景観	19	14.8%
輪中堤や水屋などの文化的景観	13	10.2%

注) 10人以上のみ掲載

【調査結果の概要】

・大垣市の顔でもある大垣城などの歴史景観やまちなかの水辺の景観がほぼ半数の支持を得ています。

(4) 景観を損ねているものについて（3つまで選択）

区分	人数（人）	割合
空缶やごみが捨てられていること	223	48.9%
老朽化した住宅や空き家	151	33.1%
河川や水路の汚れ	134	29.4%
放置された自転車・自動車	118	25.9%
手入れの行き届かない荒れた山林、農地などがあること	100	21.9%
建物など街並みが調和、連続性を失っていること	90	19.7%
看板やポスター、のぼり旗が氾濫していること	82	18.0%
由緒ある建物、街並みが失われつつあること	72	15.8%
街路樹が通りに少ないこと	69	15.1%
ふぞろいな高層建築物	47	10.3%
鉄塔や電柱、電線	44	9.6%
周囲となじまない形や色彩の建物があること	18	3.9%
その他	20	4.4%

【調査結果の概要】

- ・空缶やごみ、老朽化した住宅、河川や水路の汚れ等、身近にあり手入れの行き届いていないものが、景観を損ねているものの上位を占めています。
- ・看板やのぼり旗も地域の景観に大きな影響があることがわかります。
- ・由緒ある建物が失われることにより景観が悪化するとの意見も 15.8%を占めています。

(5) 魅力的な都市景観について（市街地景観、3つまで回答）

区分	人数（人）	割合
水門川	186	40.8%
ソフトピアジャパン	143	31.4%
大垣城周辺	108	23.7%
花水木通り	82	18.0%
大垣駅通り	41	9.0%
船町港跡周辺	35	7.7%
曾根城公園	34	7.5%
電線類のない通り	33	7.2%
墨俣一夜城周辺	26	5.7%

注) 20人以上のみ記載

【調査結果の概要】

- ・水門川、ソフトピアジャパン、大垣城周辺など水や緑、歴史と調和している市街地景観の評価が高くなっています。
- ・花水木通り、大垣駅通り等整備の行き届いた通りも評価が高くなっています。

(6) 大垣らしいと思う景観について（自然、歴史、産業、文化、3つまで回答）

区分	人数（人）	割合
大垣城	219	48.0%
奥の細道むすびの地	120	26.3%
船町港跡	75	16.4%
墨俣一夜城	74	16.2%
ソフトピアジャパン	50	11.0%
美濃国分寺跡	50	11.0%
伊吹山	47	10.3%
水門川沿い	42	9.2%
多良峡	28	6.1%
犀川	26	5.7%
揖斐川	24	5.3%
水嶺湖	24	5.3%
長良川	22	4.8%
養老山	22	4.8%

注) 20人以上のみ記載

【調査結果の概要】

- ・ 観光地としても大垣を代表する場所が、景観上也優れているとの支持を得ています。
- ・ 人々の暮らしを育んできた河川も高い評価を得ています。

(7) 好ましくない景観、改善したい場所について（3つまで回答）

区分	人数（人）	割合
大垣駅前通り	80	17.5%
大垣駅周辺	76	16.7%
大垣城	14	3.1%
ソフトピアジャパン	12	2.6%

注) 10人以上のみ記載

【調査結果の概要】

- ・ 大垣の玄関口として、大垣の顔となる大垣駅周辺の改善に市民の意見は集中しています。

### 3. 良好な景観形成のための方策について

#### (1) 重点をおいて取り組むべきものについて

区分	人数(人)	割合
川の水辺を活かした景観づくり	104	22.8%
緑が豊かで草花が咲きほこる景観づくり	98	21.5%
市街地の街並み整備や魅力的な景観づくり	96	21.1%
社寺や歴史ある街並みを活かした歴史文化や風格のある景観づくり	81	17.8%
田園風景が美しい農地景観づくり(農地の保全など)	48	10.5%
その他	6	1.3%
無回答	23	5.0%

#### 【調査結果の概要】

・川の水辺を活かした景観、緑豊かな景観、市街地の街並み整備の3項目に、まんべんなく意見がわかれしました。

#### (2) 景観施策について(5つまで選択)

区分	人数(人)	割合
まちの顔となる駅周辺など市街地整備を進める	237	52.0%
歴史的遺産や風土を守り育てる	214	46.9%
道路や公共施設の緑化を進める	208	45.6%
河川などを親水空間として整備する	191	41.9%
市民参加で清掃奉仕や花植えなど環境美化活動を行う	153	33.6%
田園の緑を守り育む	150	32.9%
電柱のデザインを工夫したり、電線を地下に埋める	120	26.3%
住宅に緑を増やす	93	20.4%
ストリートファニチャーを美しくデザインする	92	20.2%
季節の移り変わりを演出する	89	19.5%
看板や案内板などの大きさやデザインを工夫する	88	19.3%
建物デザインを統一するなど街並みを整備する	75	16.4%
開発事業者や市民の建築行為を誘導する	41	9.0%
公共建築物のデザインを工夫する	36	7.9%
音や光で風景を演出する	33	7.2%
象徴的な建物・モニュメントを整備する	28	6.1%
その他	13	2.9%

【調査結果の概要】

- ・「まちの顔となる駅周辺など市街地整備を進める」が 52.0%で最も高く、なっています。
- ・歴史的遺産や風土の保全や道路や公共施設の緑化については、先の設問で満足度はたかかったものの、さらなる整備が求められています。
- ・市民自らが行う清掃奉仕や環境美化についても良好な景観形成には重要だと意見が 33.6%を占めています。

(3) 規制の必要性について

区分	人数 (人)	割合
必要だと思う	161	35.3%
どちらかといえば必要だと思う	133	29.2%
どちらともいえない (わからない)	110	24.1%
どちらかといえば必要でないと思う	6	1.3%
必要でないと思う	5	1.1%
無回答	41	9.0%

【調査結果の概要】

- ・「必要だと思う」が 35.3%で最も高く、次いで「どちらかといえば必要だと思う」が 29.2%となっており、規制は半数以上の市民が必要だと考えています。

(4) 規制の内容について (2つまで選択)

区分	人数 (人)	割合
見苦しい看板・屋外広告物の規制	225	76.5%
大規模な山林や農地の開発に対する規制	94	32.0%
建築物の高さの規制	76	25.9%
建築物の形態・デザインなどの規制	56	19.0%
建築物の色の規制	39	13.3%
その他	20	6.8%

【調査結果の概要】

- ・「見苦しい看板・屋外広告物の規制」については、8割近くの住民が必要と考えるほど景観に悪影響を及ぼしていることがわかります。
- ・これに対し、高さ制限など私権に係る規制は、必要とされるものの、広告物に比べて関心は薄くなっています。

## ※アンケート集計結果の注意点について

- ・複数回答のものは割合の合計が100%になりません。
- ・2. (5)～(7)については自由回答です。(例示はしています。)

## 4. 自由意見

(1) 景観を良くするために、自ら取り組んでいること(取り組みたいこと)。

(総数 160件)

- ・景観を良くするため、市民自らが取り組んでいる、又は取り組んでみたいこととしましては、自宅周辺のごみ拾いや地域の清掃活動への参加、自宅を草花で緑化するなどの2つの意見に集中しています。

### ・主な意見

#### ①清掃関係 (84件)

- ・ごみのない美しいまちづくりのためのボランティア清掃。
- ・道路や公園などをよごさない、ごみをしない。
- ・杭瀬川の川辺の草を有志で刈り、水辺を美しくしている。

#### ②緑化関係 (23件)

- ・家の周囲に草花を絶やさないようにしている。
- ・生垣の整備
- ・地域で行う「みんなの花だん」の活動にできるだけ参加するようにしている。

(2) 景観を良くするために、意見や提案(アイデア)など。

(総数 189件)

- ・複数の項目に該当する事項もあり、厳密な区分けではできませんが、主として以下のような意見、提案がありました。傾向としましては、大垣駅や駅前商店街の活性化や、道路や河川、公園の整備(除草や緑化)を挙げる意見が多くなっています。

### ・主な意見

#### ①道路や河川、電柱等の公的施設の整備に関するもの(36件)

- ・河川を人工的に整備しすぎでは。土(自然物)等が少ない。
- ・道路・歩道の幅を充分広く取り、街路樹を植えるなど、ゆったりとした景観作りを。

#### ②大垣駅周辺及び駅前通り(商店街)に関するもの(32件)

- ・駅前通り一帯を「城下町」「水の都」といったイメージで統一し、魅力あ

る商店街づくりを含め、風格と活気のある場所にする。

- ・駅前通りが寂しすぎる。水辺の川やせせらぎ等水と親しむ空間を作る。

### ③その他（25件）

- ・大木（樹）（100年以上の物）が少ないので、大垣市で守りたい。
- ・駅北地区は商業・文教・スポーツ・住宅地区化し、駅南は新しい型の住宅地化、大垣城周辺は高齢者と子供の憩いの場にする。特色のない街だから、時代に沿った近代化が必要。

### ④ごみに関するもの（21件）

- ・市民の一人ひとりがごみや空き缶を捨てないように心がけるようにする。
- ・大垣は水の都といっても、ごみやタバコの吸殻で川がきたないので、川をよごさないようにし、自慢できるようになればいい。

### ⑤緑化に関するもの（17件）

- ・公園を多く広くし、自噴水をつくり、樹木を多く植える。
- ・マンション・集合住宅は庭木や生垣など緑の豊かなところが少ないので指導を行う。

### ⑥里山、田園等の自然景観に関するもの（12件）

- ・休耕田が増え、春のレンゲ草も減っている。子供の教育のためにも景観のためにも季節の感じられる田園にならないか。
- ・手入れの行き届いていない休耕農地や河川特に農業用排水路の汚れなど、田園風景が美しい農地景観づくりが重要。

### ⑦大垣城及び水門川周辺整備に関するもの（8件）

- ・大垣城を中心とする大垣公園周辺の歴史上の資料を参考とした抜本的な環境整備と観光客を受け入れる駐車場の整備を。
- ・あまり高い建築物はないままに、大垣城を含めた水と緑と歴史のあるまちづくりを。

### ⑧景観に関する意識啓発に関するもの（7件）

- ・生まれ育った大垣についてもっとよく知り好きになること。
- ・小さい子供の時から自分が住んでいる大垣市の美しいところ、自慢できるところなどを見学させたり、勉強させたりして関心を持たせることが大切。

### ⑨建物の高さ、色彩、デザインに関するもの（6件）

- ・高い建物や電柱を無くし、どの街からでも伊吹山の眺めをよくしてほしい。
- ・建築物の形態・デザイン・色の規制を行い、自然の景観が残っている所は保護する。

### ⑩赤坂宿や大垣宿をはじめとする歴史的景観に関するもの（6件）

- ・大垣には重要な歴史人物が多数おり、その人たちをうまく結び付け駅前から大垣城、船町跡地までを歴史的景観に復元する。

- ・歴史のある建造物を保護する。
- ⑪屋外広告物に関するもの（5件）
  - ・ポスター看板を撤去してほしい。またのぼりも禁止してほしい。視界を妨ぎ危険を感じる。
  - ・屋外広告物が以前よりも大きく色も目立つようになった。